



2021年8月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年7月14日

上場会社名 株式会社カワサキ

上場取引所 東

コード番号 3045 URL <https://www.kawasaki-corp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川崎 久典

問合せ先責任者 (役職名) 管理部部長 (氏名) 池田 喜章

TEL 072-439-8011

四半期報告書提出予定日 2021年7月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第3四半期の業績(2020年9月1日～2021年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第3四半期	1,151		231		251		437	
2020年8月期第3四半期								

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第3四半期	203.68	
2020年8月期第3四半期		

(注)当社は、2020年8月期第3四半期は連結業績を開示しておりましたが、当第2四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2020年8月期第3四半期の実績及び対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	%
2021年8月期第3四半期	6,046		4,545		75.2	
2020年8月期	6,186		4,161		67.3	

(参考)自己資本 2021年8月期第3四半期 4,545百万円 2020年8月期 4,161百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期		12.50		12.50	25.00
2021年8月期		12.50			
2021年8月期(予想)				37.50	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年8月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当12円50銭 創業50周年 記念配当25円00銭

なお、詳細につきましては、2021年4月14日に公表いたしました「剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正(創業50周年記念配当)に関するお知らせ」を参照ください。

3. 2021年8月期の業績予想(2020年9月1日～2021年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,510		280		311		390		181.93

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、2020年12月1日付で完全子会社であるオーアンドケイ株式会社を吸収合併いたしました。当合併により連結子会社がなくなることから、2021年8月期(通期)は個別決算による開示となりますが、通期業績予想の対前期増減率は、比較対象が異なるため記載していません。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年8月期3Q	2,901,000 株	2020年8月期	2,901,000 株
2021年8月期3Q	752,192 株	2020年8月期	752,192 株
2021年8月期3Q	2,148,808 株	2020年8月期3Q	2,148,808 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

本文の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

(経営成績の状況)

当第3四半期累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の長期化を受け、外出自粛などの影響により、個人消費や設備投資が落ち込み、企業を取り巻く環境は厳しいものになりました。ワクチン接種開始による感染症収束への期待の高まりにより持ち直しの動きも見られましたが、変異株による更なる感染拡大の懸念もあり依然として先行きの見通せない不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社の服飾事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛や新しい生活様式がもたらす消費行動の変化によって、実店舗での業績は厳しい状況で推移しましたが、通信販売やテレビショッピングにおいては、拡大傾向となりました。賃貸・倉庫事業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による業績への影響は軽微となりました。

その結果、当第3四半期累計期間の業績は売上高1,151,105千円、営業利益231,854千円、経常利益251,616千円、四半期純利益437,669千円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(服飾事業)

当事業部門におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による消費の落ち込みにより、売上の影響を受けておりますが、販売体制の見直し、コストダウンの推進、販売在庫品目の整理等で収益体質の改善が引き続き進んでおります。その結果、売上高は432,460千円、営業利益は9,772千円となりました。

(賃貸・倉庫事業)

当事業部門におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響は軽微であり、業績は底堅く推移しました。その結果、売上高は718,644千円、営業利益は222,081千円となりました。

なお、前第3四半期連結累計期間は四半期連結財務諸表を作成し、四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は、前事業年度末に比べて119,270千円(19.3%)増加し、738,640千円となりました。この主な要因は、現金及び預金が237,740千円増加し、売掛金が50,784千円、商品及び製品が58,372千円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は、前事業年度末に比べて258,829千円(4.6%)減少し、5,308,057千円となりました。この主な要因は、土地が237,465千円、建物及び構築物が79,223千円、機械装置及び運搬具が28,655千円減少したことによるものであります。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は、前事業年度末に比べて465,790千円(45.5%)減少し、558,998千円となりました。この主な要因は、短期借入金が500,000千円、一年以内返済予定の長期借入金が66,560千円減少し、未払法人税等が87,659千円が増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は、前事業年度末に比べて57,718千円(5.8%)減少し、941,797千円となりました。この主な要因は、長期借入金が155,390千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末に比べて383,948千円(9.2%)増加し、4,545,901千円となりました。この主な要因は、四半期純利益を437,669千円計上したものの、配当による減少53,720千円があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2021年4月14日に公表いたしました数値から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	109,191	346,931
受取手形及び売掛金	117,838	65,899
商品及び製品	332,286	273,914
原材料及び貯蔵品	41,390	35,990
その他	20,600	16,869
貸倒引当金	△1,936	△964
流動資産合計	619,370	738,640
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,106,586	2,027,363
機械装置及び運搬具（純額）	318,004	289,348
土地	2,888,267	2,650,802
その他（純額）	6,795	8,632
有形固定資産合計	5,319,654	4,976,147
無形固定資産	27,458	20,376
投資その他の資産		
繰延税金資産	71,338	174,387
その他	149,771	138,482
貸倒引当金	△1,336	△1,336
投資その他の資産合計	219,774	311,533
固定資産合計	5,566,886	5,308,057
資産合計	6,186,257	6,046,697
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,624	3,229
短期借入金	500,000	-
1年内返済予定の長期借入金	297,600	231,040
未払費用	41,092	43,616
未払法人税等	44,039	131,698
賞与引当金	1,212	3,304
その他	138,220	146,110
流動負債合計	1,024,789	558,998
固定負債		
長期借入金	359,590	204,200
役員退職慰労引当金	206,283	309,399
資産除去債務	221,142	221,997
その他	212,500	206,200
固定負債合計	999,516	941,797
負債合計	2,024,305	1,500,796

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,300	564,300
資本剰余金	465,937	465,937
利益剰余金	3,606,836	3,990,785
自己株式	△475,121	△475,121
株主資本合計	4,161,952	4,545,901
純資産合計	4,161,952	4,545,901
負債純資産合計	6,186,257	6,046,697

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自2020年9月1日 至2021年5月31日)
売上高	1,151,105
売上原価	601,154
売上総利益	549,950
販売費及び一般管理費	318,096
営業利益	231,854
営業外収益	
受取利息	0
補助金収入	15,627
その他	5,469
営業外収益合計	21,096
営業外費用	
支払利息	1,223
為替差損	105
その他	5
営業外費用合計	1,334
経常利益	251,616
特別利益	
固定資産売却益	240,528
抱合せ株式消滅差益	122,915
特別利益合計	363,443
特別損失	
固定資産除却損	3,525
店舗閉鎖損失	3,022
役員退職慰労金	99,166
特別損失合計	105,714
税引前四半期純利益	509,344
法人税、住民税及び事業税	173,568
法人税等調整額	△101,892
法人税等合計	71,675
四半期純利益	437,669

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 当第3四半期累計期間(自 2020年9月1日 至 2021年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		(単位：千円)
	服飾事業	賃貸・倉庫事業	四半期損益 計算書計上額
売上高			
外部顧客への売上高	432,460	718,644	1,151,105
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	432,460	718,644	1,151,105
セグメント利益	9,772	222,081	231,854

(注) セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

(資本金の額の減少について)

当社は、2021年6月15日開催の臨時株主総会において、資本金の額の減少(減資)について付議し、同株主総会において承認可決されました。当該資本金の額の減少は、債権者保護手続完了後の2021年6月21日をもって効力が発生しております。

1. 資本金の額の減少の目的

経営戦略の一環として、資本政策の柔軟性及び機動性を確保し、売上規模に見合った適切な税制適用を通じて健全な財務内容を維持し、安定的な配当財源の確保を図ることを目的として、会社法第447条第1項の規定に基づき、資本金の額を減少し、その他資本剰余金に振り替えるものであります。

2. 資本金の額の減少方法

払い戻しを行わない無償減資とし、発行済株式総数の変更は行わず、減少する資本金の額560,000,000円をその他資本剰余金に振り替えることといたします。

3. 減少する資本金の額

当社の資本金の額564,300,000円のうち560,000,000円を減少いたします。

その結果、減少後の資本金の額は4,300,000円となります。

4. その他の重要な事項

本件は、純資産の部における勘定科目間の振替処理であり、純資産額の変動はなく、業績に与える影響はありません。